

クローズアップ 多摩地区の 注目企業を紹介 カンパニー2013

第225回 立川ニアレスト法律事務所

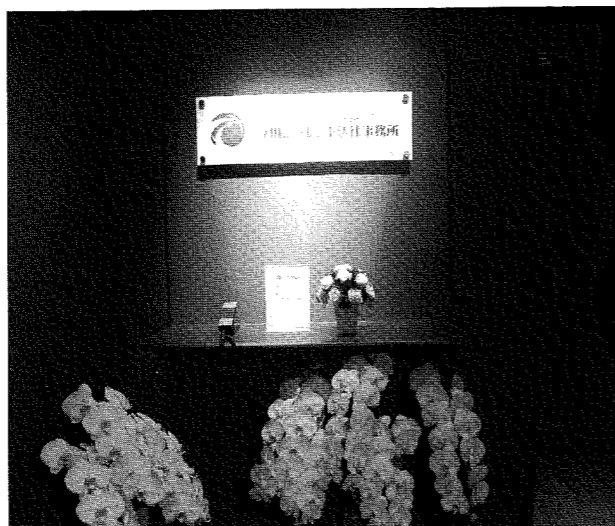
■司法過疎地域で経験

立川ニアレスト法律事務所は、杉並区にある弁護士法人TNLAWの立川支所にあたり、一藤剛志弁護士と米村哲生弁護士の2名が運営している。

二人とも2003年の司法試験合格者で、2005年9月に司法修習を終えている（第58期生）。

一藤剛志弁護士は、都内の大手事務所で経験を積み、鳥取県倉吉市の公設「法テラス倉吉法律事務所」で3年半を過ごした。一藤剛志弁護士の名声を高めたのは、2009年11月に町田市で発生した交通トラブルで被害者側が暴行の罪に問われていたところを、正当防衛だとして2011年1月に無罪判決を勝ち取ったことである。

米村哲生弁護士は、2007年4月から3年間、北海道根室市の公設「根室ひまわり基金法律事務所」の3代目所長を経験した。根室市には釧路地裁根室支部などがあるものの、裁判官は常駐せず、週2日程度の開廷日に釧路地方裁判所本庁から出張してくる司法過疎地域。根室支部だけでも約3500km²ほどの面積があり、多摩地区の面積が約1160m²なので、多摩地区の3倍の



「エントランス」

広さの地域を東奔西走していたことになる。

二人とも司法過疎地域に勤務していたので、幅広い相談・依頼が舞い込んで来る。このため、離婚や相続、不動産、建築、交通事故などの民事から、債務整理、成年後見、刑事までさまざまな経験を積むことになった。

■多摩は隠れた司法過疎地域

実は、人口比で見ると多摩地区も一種の司法過疎地域と言える。大都市郊外の隠れた司法過疎を解決すべく、二人は立川で開所した。事務所名の「ニアレスト」は、駅からの「近さ」（立川駅北口歩1分）、弁護士との「近さ」、解決の「近さ」を込めている。



「会議室」

クローズアップカンパニー2013



「一藤弁護士」



「米村弁護士」

東京地裁立川支部最寄り駅の多摩モノレール高松駅南行ホームに広告を出していることもあり、裁判所帰りの人が飛び込みで来所することもあるそうで、司法を身近に感じてもらえている証拠だろう。

また、特徴的なのが立川法人会に加盟していること。このため、法人会経由での相談・依頼もあり、個人事業主や中小企業にとって頼りになる存在となっている。

ちなみに、弁護士法人TNLAWの「TN」は東京西（TOKYO-NISHI）の頭文字で、二人のほかに六名の弁護士が所属している。弁護士過疎地での活動経験や企業での勤務経験、海外留学など経験・特色が異なり、直接担当していな

い事件であっても、協力を惜しまない弁護士ばかりだ。経験も積み、行動力もある30代から40代の働き盛りばかりだということもクライアントにとって安心だ。

弁護士へ相談することを、敷居が高いと感じている方は、アットホームな雰囲気立川ニアレスト法律事務所に相談・依頼するのが、解決への近道だ。

会社名	立川ニアレスト法律事務所
所在地	立川市曙町2-13-3
電話	042-512-9871
FAX	042-512-9872
設立	2010年（平成22年）9月
企業コード	663001627
URL	http://www.tn-law.jp

～帝国ニュース会員専用「無料」ネットサービス～ TEIKOKU NEWS ONLINE のご登録はお済みですか？

- 全国の倒産・動向記事や債権者名簿をリアルタイムで更新。社名やエリア、業種で素早く検索できます。
- 大型倒産の発生時には、「TDB 倒産速報メール」を配信。
- そのほか、与信管理に役立つコンテンツも豊富にご用意しています！

★ ご興味を持たれた方は <http://www.tdb-news.com/> にアクセスし、「新規ユーザ登録」からID・PWをご登録ください！（帝国ニュース1冊のご購読につき1ID無料でご登録いただけます）

★ 詳細については、帝国データバンク 産業調査部 情報企画課（電話 03-5775-3073）までお電話ください！